

看護学生の受験理由と看護学科選択理由に関する実態（第2報）

—本学看護学科2期生の入学時調査から—

酒井志保¹⁾・滝内隆子²⁾・大島弓子³⁾・佐々木真紀子⁴⁾・南雲美代子¹⁾

**A Study on the Motives of Applying Our College and the Specialty Choice
Through a Survey toward the New Students (of the Second School year)
Belonging to the Department of Nursing. (2nd.Report)**

Shiho SAKAI Takako TAKIUCHI Yumiko OSHIMA Makiko SASAKI Miyoko NAGUMO

要旨：日本赤十字秋田短期大学（以下、本学とする）看護学科2期生を対象に、学習上のニーズ把握を目的に入学時に実態調査を行った。この研究は其中で入学動機に焦点をあて、本学の選択理由及び看護学科の選択理由について調査したものである。結果、以下の事が明らかになった。1）本学を選択した理由は「看護婦（士）になりたかった」ため、「日本赤十字」だから、「県内」だから、「短期大学」及び「環境や設備がよかった」ため、の順に多かった。また本学を選択した理由2項目の組み合わせは、「看護婦（士）になりたかった」と「日本赤十字」、「看護婦（士）になりたかった」と「環境や設備がよかった」が多かった。2）看護学科を選択した理由は「看護婦（士）になりたかった」ため、「看護婦（士）の資格をとりたかった」ため、「将来、役に立つ」から、の順に多かった。3）本学選択理由別にみた学科選択理由は、本学選択理由「看護婦（士）になりたかった」と学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」、本学選択理由「日本赤十字」と学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」の組み合わせが多かった。4）出身地と本学選択理由「日本赤十字」だからとの間には、「秋田県外」出身者が「日本赤十字」だからを選ぶ割合が有意に高かった。

キーワード：入学、学校選択、学科選択、看護職志向、日本赤十字

Summary : To grasp the needs of learning, we make a survey toward the new students every year. This report puts a focus on the reasons why newcomers have chosen our college and nursing department. The survey indicated following facts: 1) Students chose our college because it is, in decreasing order, “inevitable step to be a nurse”, “founded by Japanese Red Cross Society”, “junior college”, “in a domestic prefecture” “in good condition and equipments”. Major couple of reasons is “founded by Japanese Red Cross Society” plus “to be a nurse” (nurse - oriented), or “in good condition and equipments” plus “to be a nurse”. 2) They chose the department of nursing because it is, in decreasing order, “inevitable course to be a nurse”, “inevitable step to be qualified as a professional nurse”, and “useful in the future”. 3) The most numerous couple of motives of their choices between our college and its department is “to become a nurse”. “Founded by Japanese Red Cross Society” plus “to be a nurse” are the next ones. 4) Comparing the newcomers' background and the previous choice, we found that where they are from and whether they have any medical care professional around them may have effected their motives.

keyword : Newcomer (Student), Choice of College, Choice of Departmen, Nurse-Oriented, Japanese Red Cross Society

看護学科 1) 助手 2) 助教授 3) 教授 4) 講師

I. はじめに

昨年筆者らは、日本赤十字秋田短期大学（以下、本学とする）看護学科1期生に学習上のニーズを把握する目的で入学動機に関する調査¹⁾を行った。この結果をふまえ、1期生に対して教育内容の構築にいかすよう努力し、有効に活用できた。2期生に対してもこの調査を継続していくことで、2期生の個別のニーズに対応した教育内容の構築をしていく必要があると考えた。

そこで今回は、対象者の背景を調査項目に新たに加え、本学看護学科2期生を対象に本学及び看護学科の選択理由について調査を行うことにした。

なお、本研究は入学時に本学看護学科2期生に実施した調査の一部である。

II. 研究目的

本学看護学科2期生の入学動機を明らかにする。

1. 本学看護学科2期生の本学及び看護学科の選択理由を明らかにする。
2. 本学の選択理由と看護学科の選択理由との関連性を明らかにする。
3. 対象の背景と本学及び看護学科の選択理由との関連性を明らかにする。

III. 研究方法

1. 調査対象：本学看護学科2期生80人
2. 調査期間：平成9年4月15日
3. 調査方法：筆者らが作成した質問紙を用いた集合調査。被調査者には調査の目的を説明し、了解を得た上で記名式とした。調査内容は①対象の背景②本学を選択した理由③看護学科を選択した理由である。

回答方法は多肢選択法とし、①については一部、記述式とした。

4. 集計・分析方法：（1）調査内容①～③を単純集計した。（2）本学選択理由と学科選択理由との間でクロス集計した。（3）対象の背景と本学及び学科選択理由との間でクロス集計を行い、差を明確にするためにカイ二乗検定を行った。

IV. 結果

1. 回答者数は80人、本学の選択理由と看護学科の選択理由の有効回答者数は79人であった。

2. 対象の背景

1) 年齢

「18歳～19歳」が74人（93.7%）で、「20歳～25歳」が5人（6.3%）で、多くは19歳以下であった。

2) 出身地

「秋田県」が57人（72.1%）、「秋田県外」が22人（27.9%）で、秋田県出身者が大半であった。

3) 身近な医療者の有無

身近に医療者が「いる」は41人（51.9%）、「いない」は38人（48.1%）であった。

また、「いる」と回答した身近な者は、「親類」が21人（51.2%）で最も多く、次いで「父母」が10人（24.4%）、「兄弟姉妹」が5人（12.2%）、「夫・妻」が1人（2.4%）、「その他」が4人（9.8%）であった。

4) 本人もしくは身近な人の入院経験の有無

本人もしくは身近な人に入院経験者が「いる」は69人（87.3%）、「いない」は10人（12.7%）で、本人もしくは身近な人に入院経験者のあるものが多かった。

また、「いる」と回答したものの入院経験者は「祖父母」が34人（49.3%）で最も多く、次いで「父母」が18人（26.2%）、「本人」が6人（8.7%）、「兄弟姉妹」・「親類」が各5人（7.2%）、「その他」が1人（1.4%）であった。

3. 本学を選択した理由

1) 本学選択理由（図1）

本学選択理由は18項目を設定し、1人2項目を選択してもらった。総回答件数は158件であった。内訳は、多いものから「看護婦（士）になりたかった」が51件、「日本赤十字だから」が20件、「県内だから」が18件の順であった。

2) 本学選択理由2項目の組み合わせと人数

（表1）

本学を選択した理由2項目の組み合わせは、36通りであった。内訳は、「看護婦（士）になりたかった」と「日本赤十字だから」が11人、次いで「看護婦（士）になりたかった」と「環境や設備がよかった」及び「看護婦（士）になりたかった」と「県内だから」が各9人、「看護婦（士）になりたかった」と「短期大学だから」が7人の順であった。

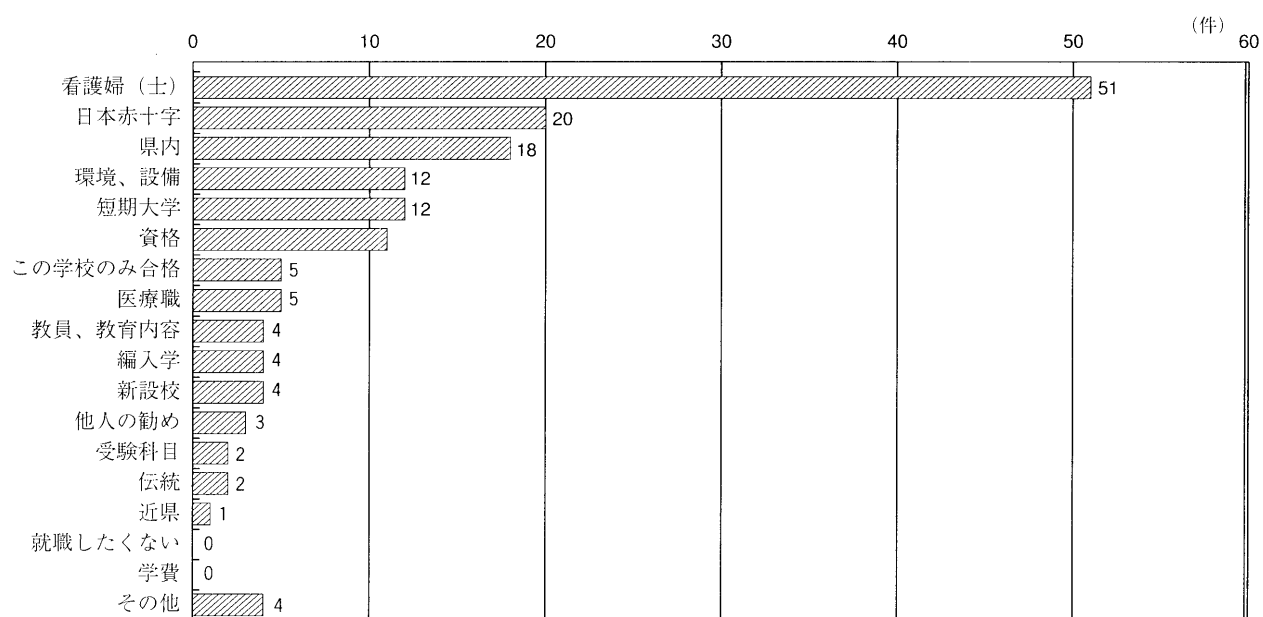


図1 本学選択理由

N=158（単位：件）

表1 本学選択理由2項目の組み合わせと人数

種類	本学選択理由2項目の組み合わせ	選択人数
1	「看護婦（士）になりたかった」と「日本赤十字だから」	1
2	「看護婦（士）になりたかった」と「環境や設備がよかった」	9
3	「看護婦（士）になりたかった」と「県内だから」	9
4	「看護婦（士）になりたかった」と「短期大学だから」	7
5	「県内だから」と「資格をとりたかった」	4
6	「看護婦（士）になりたかった」と「教員及び教育内容がいいと聞いた」	3
7	「看護婦（士）になりたかった」と「編入学ができる」	2
8	「看護婦（士）になりたかった」と「専門学校としての伝統が長い」	2
9	「看護婦（士）になりたかった」と「この学校しか受からなかった」	2
10	「看護婦（士）になりたかった」と「その他」	2
11	「日本赤十字だから」と「看護婦（士）以外の医療職になりたかった」	2
12	「日本赤十字だから」と「資格をとりたかった」	2
13	「看護婦（士）になりたかった」と「資格をとりたかった」	1
14	「看護婦（士）になりたかった」と「看護婦（士）以外の医療職になりたかった」	1
15	「看護婦（士）になりたかった」と「近県だから」	1
16	「看護婦（士）になりたかった」と「受験科目が自分にあっていた」	1
17	「看護婦（士）になりたかった」と「他の人に勧められた」	1
18	「資格をとりたかった」と「環境や設備がよかった」	1
19	「資格をとりたかった」と「看護婦（士）以外の医療職になりたかった」	1
20	「資格をとりたかった」と「教員及び教育内容がいいと聞いた」	1
21	「看護婦（士）以外の医療職になりたかった」と「その他」	1
22	「日本赤十字だから」と「県内だから」	1
23	「日本赤十字だから」と「短期大学だから」	1
24	「日本赤十字だから」と「新設校だから」	1
25	「日本赤十字だから」と「編入学ができる」	1
26	「短期大学だから」と「県内だから」	1
27	「短期大学だから」と「環境や設備がよかった」	1
28	「短期大学だから」と「受験科目が自分にあっていた」	1
29	「短期大学だから」と「この学校しか受からなかった」	1
30	「編入学ができる」と「その他」	1
31	「新設校だから」と「資格をとりたかった」	1
32	「新設校だから」と「この学校しか受からなかった」	1
33	「新設校だから」と「他の人に勧められた」	1
34	「県内だから」と「環境や設備がよかった」	1
35	「県内だから」と「この学校しか受からなかった」	1
36	「県内だから」と「他の人に勧められた」	1
計	36通り	79

N=79（単位：人）

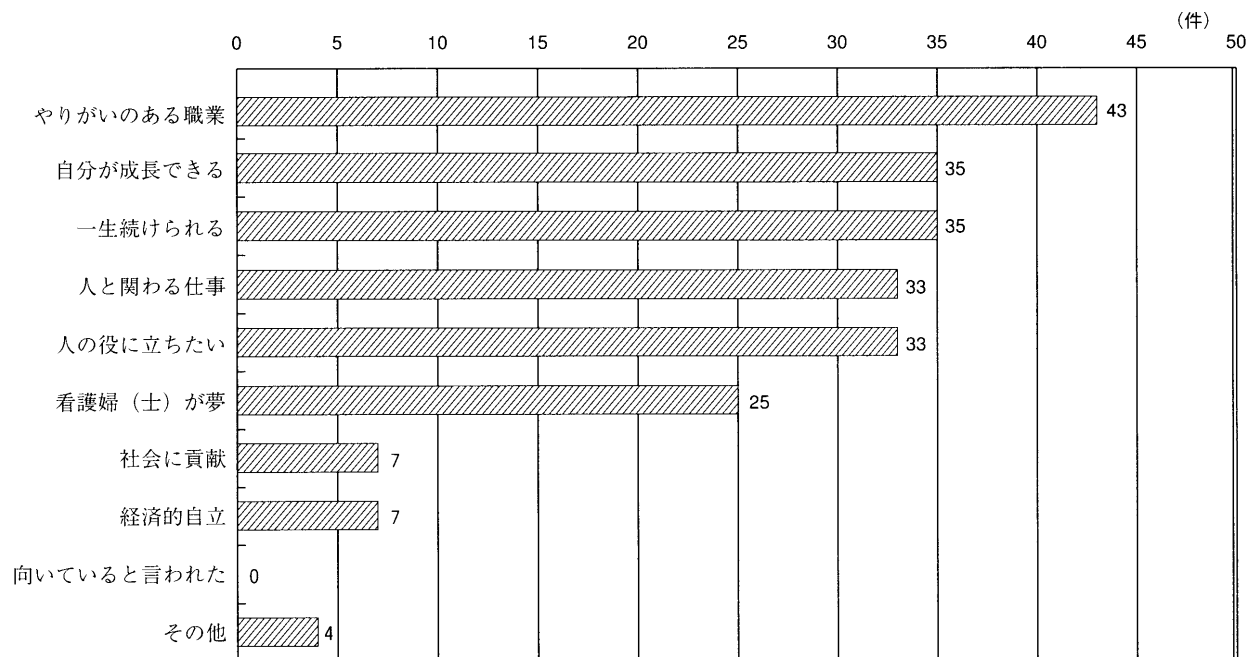


図2 学科選択理由 「看護婦(士)になりたかった」を選択した理由 N=222 (単位: 件 複数回答)

4. 看護学科を選択した理由

看護学科選択理由は、「看護婦(士)になりたかった」が62人(78.5%)と最も多く、次いで「看護婦(士)の資格をとりたかった」が10人(12.6%)、「将来、役に立つと思った」が1人(1.3%)、「その他」が6人(7.6%)で、「どの学科でもよかった」はいなかった。

また、「看護婦(士)になりたかった」を選択した62人に、その理由を10項目の中から複数回答とした。総回答件数は222件であった。内訳は、「やりがいのある職業」が43件と最も多く、次いで「自分が成長できる仕事」「一生続けられる職業」が各35件、「人と関わる仕事がしたかった」「人の役に立ちたい」が各33件、「看護婦(士)になるのが夢」が25件であった。(図2)

5. 本学選択理由別にみた学科選択理由(表2)

本学選択理由の上位3位までの学科選択理由をみると、本学選択理由「看護婦(士)になりたかった」の学科選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が50件(98.0%)、「日本赤十字だから」では「看護婦(士)になりたかった」が18件(90.0%)、「県内だから」では「看護婦(士)になりたかった」が11件(61.1%)がそれぞれ最も多かった。

また、「その他」の記述内容に「養護教諭を目指しているため、看護について詳しく学んで、もう1度進学を考えているため」や「看護婦だけではなく、保健婦の資格がほしかったため」などがあった。

6. 対象の背景別にみた本学選択理由

対象の背景別にみた本学選択理由は表3に示したとおりであった。

1) 年齢別にみた本学選択理由

「18歳～19歳」では、148件の回答があった。内訳は「看護婦(士)になりたかった」が48件(32.4%)で最も多く、次いで「日本赤十字だから」が19件(12.8%)、「県内だから」が17件(11.5%)であった。「20歳～25歳」は10件で、「看護婦(士)になりたかった」が3件(30.0%)で最も多かった。

2) 出身地別にみた本学選択理由

「秋田県」出身者では114件の回答があった。内訳は「看護婦(士)になりたかった」が36件(31.6%)と最も多く、次いで「県内だから」が17件(14.9%)、「環境や設備がよかった」が12件(10.5%)であった。「秋田県外」出身者では44件の回答があり、「看護婦(士)になりたかった」が15件(34.2%)で最も多く、次いで「日本赤十字だから」が11件(25.0%)であった。

表2 本学選択理由別にみた学科選択理由

学科選択理由 本学選択理由(158件)	看護婦（士）に なりたかった	看護婦（士）の 資格をとりたか った	将来、役にたつ と思った	そ の 他
看護婦(士)になりたかった n=51(100%)	5 0 (98.0%)	0	1 (2.0%)	0
日本赤十字だから n=20(100%)	1 8 (90.0%)	0	0	2 (10.0%)
県内だから n=18(100%)	1 1 (61.1%)	6 (33.3%)	0	1 (5.6%)
環境や設備がよかった n=12(100%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0	1 (8.3%)
短期大学だから n=12(100%)	1 0 (83.3%)	2 (16.7%)	0	0
資格をとりたかった n=11(100%)	4 (36.4%)	6 (54.6%)	0	1 (9.0%)
この学校しか受からなかった n=5 (100%)	3 (60.0%)	0	0	2 (40.0%)
看護婦(士)以外の医療職になりたかった n=5 (100%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0	2 (40.0%)
教育及び教育内容がよいと聞いた n=4 (100%)	4 (100%)	0	0	0
編入学ができる n=4 (100%)	3 (75.0%)	0	0	1 (25.0%)
新設校だから n=4 (100%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0	1 (25.0%)
他の人に勧められた n=3 (100%)	3 (100%)	0	0	0
受験科目が自分にあった n=2 (100%)	2 (100%)	0	0	0
専門学校としての伝統が長い n=2 (100%)	1 (50.0%)	0	1 (50.0%)	0
近県だった n=1 (100%)	1 (100%)	0	0	0
その他 n=4 (100%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0	1 (25.0%)

(単位：件)

表3 対象の背景別にみた本学選択理由

対象の背景 本学選択理由 (158件)	1) 年 齢		2) 出身地		3) 身近な医療者		4) 入院経験	
	18～19 歳 n=148 (100%)	20～25 歳 n=10 (100%)	秋田県 n=114 (100%)	秋田 県外 n=44 (100%)	い る n=82 (100%)	いない n=76 (100%)	い る n=138 (100%)	いない n=20 (100%)
看護婦(士)になりたかった	48 (32.4%)	3 (30.0%)	36 (31.6%)	15 (34.2%)	27 (32.9%)	24 (31.6%)	43 (31.2%)	8 (40.0%)
日本赤十字だから	19 (12.8%)	1 (10.0%)	9 (7.9%)	11 (25.0%)	11 (13.4%)	9 (11.8%)	18 (13.0%)	2 (10.0%)
県内だから	17 (11.5%)	1 (10.0%)	17 (14.9%)	1 (2.2%)	7 (8.6%)	11 (14.5%)	17 (12.3%)	1 (5.0%)
環境や設備がよかった	12 (8.1%)	0	12 (10.5%)	0	6 (7.3%)	6 (7.9%)	8 (5.8%)	4 (20.0%)
短期大学だから	11 (7.4%)	1 (10.0%)	9 (7.9%)	3 (6.8%)	8 (9.8%)	4 (5.3%)	11 (8.0%)	1 (5.0%)
資格をとりたかった	10 (6.8%)	1 (10.0%)	11 (9.7%)	0	7 (8.6%)	4 (5.3%)	10 (7.3%)	1 (5.0%)
この学校しか受からなかった	4 (2.7%)	1 (10.0%)	3 (2.6%)	2 (4.6%)	2 (2.4%)	3 (4.0%)	5 (3.6%)	0
看護婦(士)以外の医療職になりたかった	5 (3.4%)	0	2 (1.8%)	3 (6.8%)	3 (3.7%)	2 (2.6%)	5 (3.6%)	0
教育及び教育内容がよいと聞いた	3 (2.0%)	1 (10.0%)	3 (2.6%)	1 (2.2%)	3 (3.7%)	1 (1.3%)	4 (2.9%)	0
編入学ができる	3 (2.0%)	1 (10.0%)	3 (2.6%)	1 (2.2%)	2 (2.4%)	2 (2.6%)	4 (2.9%)	0
新設校だから	4 (2.7%)	0	2 (1.8%)	2 (4.6%)	1 (1.2%)	3 (4.0%)	3 (2.1%)	1 (5.0%)
他の人に勧められた	3 (2.0%)	0	1 (0.9%)	2 (4.6%)	1 (1.2%)	2 (2.6%)	2 (1.5%)	1 (5.0%)
受験科目が自分にあった	2 (1.4%)	0	0	2 (4.6%)	0	2 (2.6%)	2 (1.5%)	0
専門学校としての伝統が長い	2 (1.4%)	0	2 (1.8%)	0	1 (1.2%)	1 (1.3%)	2 (1.5%)	0
近県だから	1 (0.7%)	0	0	1 (2.2%)	1 (1.2%)	0	1 (0.7%)	0
その他	4 (2.7%)	0	4 (3.5%)	0	2 (2.4%)	2 (2.6%)	3 (2.1%)	1 (5.0%)

(単位：件)

表4 出身地の人数別にみた本学選択理由「日本赤十字だから」との比較

出身地	「日本赤十字だから」を選択した人	「日本赤十字だから」を選択しなかった人	計
秋 田 県	9 (15.8%)	48 (84.2%)	57 (100%)
秋田県外	11 (50.0%)	11 (50.0%)	22 (100%)

N = 79 (単位：人)
 $(\chi^2 = 9.826, df = 1, p < .01)$

さらに出身地の人数別に本学選択理由として「日本赤十字だから」を選択した人としなかった人を比較した。「秋田県」出身者では「日本赤十字だから」を選択した人が9人(15.8%)、「秋田県外」出身者では11人(50.0%)であり、これらには有意な差がみられた。(表4)

3) 身近な医療者の有無と本学選択理由

身近に医療者が「いる」ものの総回答件数は82件であった。選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が27件(32.9%)と最も多く、次いで「日本赤十字だから」が11件(13.4%)、「短期大学だから」が8件(9.8%)であった。

「いない」ものの総回答件数は76件であった。選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が24件(31.6%)、「県内だから」が11件(14.5%)、「日本赤十字だから」が9件(11.8%)の順であった。

4) 本人もしくは身近な人の入院経験の有無と本学選択理由

本人もしくは身近な人に入院経験者が「いる」ものの総回答件数は、138件であった。選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が43件(31.2%)と最も多く、次いで「日本赤十字だから」が18件(13.0%)、「県内だから」が17件(12.3%)であった。

「いない」ものの総回答件数は20件であった。選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が8件(40.0%)、「環境や設備がよかった」が4件(20.0%)の順であった。

7. 対象の背景別にみた学科選択理由

対象の背景別にみた学科選択理由は表5に示したとおりであった。

1) 年齢別にみた学科選択理由

「18歳～19歳」では「看護婦(士)になりたかった」が57人(77.0%)で最も多く、次いで

表5 対象の背景別にみた学科選択理由

対象の背景	1) 年 齢		2) 出身地		3) 身近な医療者		4) 入院経験者	
	18～19歳 n=74 (100%)	20～25歳 n=5 (100%)	秋田県 n=57 (100%)	秋田県外 n=22 (100%)	い る n=41 (100%)	い ない n=38 (100%)	い る n=69 (100%)	い ない n=10 (100%)
学科選択理由 (79人)								
看護婦(士)になりたかった	57 (77.0%)	5 (100%)	42 (73.7%)	20 (90.9%)	34 (82.9%)	28 (73.2%)	53 (76.8%)	9 (90.0%)
看護婦(士)の資格をとりたかった	10 (13.5%)	0	10 (17.5%)	0	4 (9.8%)	6 (15.8%)	10 (14.5%)	0
将来、役に立つと思った	1 (1.4%)	0	1 (1.8%)	0	0	1 (2.6%)	1 (1.5%)	0
そ の 他	6 (8.1%)	0	4 (7.0%)	2 (9.1%)	3 (7.3%)	3 (7.9%)	5 (7.2%)	1 (10.0%)

(単位：人)

「看護婦（士）の資格をとりたかった」が10人（13.5%）、「20歳～25歳」では5人全員が「看護婦（士）になりたかった」であった。

2) 出身地別にみた学科選択理由

「秋田県」出身者では、「看護婦（士）になりたかった」が42人（73.7%）と最も多く、次いで「看護婦（士）の資格をとりたかった」が10人（17.5%）、「秋田県外」出身者では、「看護婦（士）になりたかった」が20人（90.9%）であった。

3) 身近な医療者の有無と学科選択理由

身近に医療者が「いる」ものの選択理由は「看護婦（士）になりたかった」が34人（82.9%）と最も多かった。

「いない」ものの選択理由は、「看護婦（士）になりたかった」が28人（73.7%）で最も多かった。

4) 本人もしくは身近な人の入院経験の有無と学科選択理由

本人もしくは身近な人に入院経験者が「いる」ものの選択理由は、「看護婦（士）になりたかった」が53人（76.8%）と最も多く、次いで「看護婦（士）の資格をとりたかった」が10人（14.5%）であった。

「いない」ものの選択理由は、「看護婦（士）になりたかった」が9人（90.0%）であった。

対象の背景と学科選択理由との間には、いずれも有意な差はみられなかった。

V. 考察

1. 本学を選択した理由

1) 本学選択理由

本学選択理由の第1位は「看護婦（士）になりたかった」であった。これは本学と看護婦（士）になるというイメージが直結し、看護の職業選択を優先的に捉えて本学を選択したのではないかと考える。また「看護婦（士）以外の医療職になりたかった」の項目も選択されていたことから看護婦（士）を含めた医療職への職業的志向が本学選択に影響していると考えられる。

1期生とは回答方法が相違するため安易に比較はできないが、1期生では、看護婦（士）になりたい、医療職になりたいなどの「職業志向」が学校受験理由の第3位²⁾で、上位であった。

本学選択理由の第2位は「日本赤十字だから」

であった。1期生でも「赤十字」は本学受験理由の第1位³⁾で、「赤十字」は1期生、2期生とも本学選択理由の上位であった。

これらのことから1期生、2期生とも職業的志向や本学が日本赤十字関連の短期大学であることが、大きな学校選択の理由になっていると考えられる。とはいえ、2期生の特徴としては、看護婦（士）になりたいという職業的志向が1期生に比べて強い傾向がみられた。

本学選択理由の第3位は「県内だから」であった。これは地元志向や通学しやすいという利点からの選択と考えられる。

2) 本学選択理由2項目の組み合わせ

本学を選択した理由2項目の組み合わせは、36通りであった。これは本学を選択する理由が多様であることを示している。つまり、同一の意見を持つ集団ではないと考える。教員側は学生の個別的ニーズに対応する努力をして教育にあたる必要があると考える。

2. 看護学科を選択した理由

看護学科選択理由の第1位は本学選択理由と同じく「看護婦（士）になりたかった」で、第2位は「看護婦（士）の資格をとりたかった」であった。このことから学科選択も学校選択と同様に職業的志向に強く影響され、職業を優先的に捉えて選択していると考えられる。

また「その他」には、「養護教諭を目指しているため、看護について詳しく学んで、もう1度進学を考えているため」や「看護婦だけではなく、保健婦の資格がほしかったため」など、看護婦の資格を取得してから、さらに他の職種を目指すという記載内容もみられた。したがって、看護婦（士）に関する情報及び看護婦（士）以外の医療職に関する情報など広く提供していく必要があると考える。

「看護婦（士）になりたかった」の理由として多かったのは、「やりがいのある職業」、「一生続けられる職業」、「自分が成長できる仕事」、「人の役に立ちたい」、「人と関わる仕事がしたかった」であり、これは1期生と同様であった⁴⁾。このことから2期生も1期生と同様に看護婦の持つ職業的・社会的意義から職業を選択していると考えられる。また、「看護婦（士）になることが夢」と回答している者が25件あった。これは、職業的な意義というよりも、自己の夢の実現として捉えて

いると考えられる。夢は、看護を学んでいく大きな原動力となるが、ただ何となく憧れている状況にもなりやすい。より具体的に看護を学び、いろいろな角度から看護について考えていけるような教育的配慮が必要であると考ええる。

一方、「どの学科でもよかった」の項目を選択した者はいなかった。このことから2期生は受験時には、はっきりと看護学科で学びたいという目的をしぼり、受験したと考えられる。

3. 本学選択理由別にみた学科選択理由

本学選択理由別にみた学科選択理由の上位3位には、「看護婦（士）になりたかった」がいずれも選択されていた。このことから、本学を選択した理由は相違しても、学科選択の理由は同じで、看護婦（士）になりたいことが入学動機として非常に強いことがわかる。

また、本学選択理由の「教員及び教育内容がいいと聞いた」と回答した4人の学科選択理由は、「看護婦（士）になりたかった」であった。これは先輩や周囲の人から本学の看護教育に対する意見や評判を聞いたり、本学の前身である秋田赤十字専門学校の伝統及び評価を知った上で、看護職に就くことを目的に本学を学習の場として選択したと推察される。これについては、教員側もそれに応えられるような教育への取り組みをしていく必要があると考える。

4. 対象の背景別にみた本学選択理由、学科選択理由との関係

1) 年齢別にみた本学選択理由、学科選択理由

本学選択理由として「18歳～19歳」では「環境や設備がよかった」を選択していたが、「20歳～25歳」では選択していなかった。

また、「18歳～19歳」では人数にはばらつきがあるものの、学科選択理由が4項目にわかれたのに対し、「20歳～25歳」では1項目からのみであった。しかも、その1項目が「看護婦（士）になりたかった」であることから「20歳～25歳」の人では、学科選択を看護婦（士）になりたいという一点にしばって学科を選択していると考えられる。

2) 出身地別にみた本学選択理由、学科選択理由

本学選択理由として「秋田県」出身者では、「県内だから」、「環境や設備がよかった」が多かった。「秋田県外」出身者では「日本赤十字

だから」が有意に多かった。

このことより「秋田県外」出身者は「日本赤十字」であることを「秋田県」出身者に比べ、重要視して本学を選択していると思われる。これは、日本赤十字社が全国的な組織であり、看護婦の育成を目的に開設されたというイメージが根強いためと考える。

「秋田県」出身者に「環境や設備がよかった」が多かったのは、「秋田県外」出身者に比べて、受験前に本学の環境や設備を実際に見学したり、口コミなどから本学について情報を得ることができるためと考える。また、「秋田県」出身者に「県内だから」が多かったのは、地域医療・看護について関心があることや、通学の利便性のためとも考えられる。秋田県内の地域医療・看護の現状などを教育内容に取り入れていくことも学生の興味、関心に対応していくために必要であると考ええる。

出身地と学科選択理由では、「秋田県」出身者では「看護婦（士）になりたかった」など、4項目から選択していたが、「秋田県外」出身者では「看護婦（士）になりたかった」と「その他」の2項目から選択していた。「その他」の内容として職業に関連した記載がみられた。

このことから「秋田県」出身者には、看護職に就く以外のいくつかの要因が絡みあって看護学科を選択しているが、「秋田県外」出身者では看護婦（士）を含めて職業に就くことにしばって学科選択をしていると考えられる。

3) 身近な医療者の有無と本学選択理由、学科選択理由

身近な医療者の有無と本学選択理由及び学科選択理由では有意差はみられなかったが、身近に医療者が「いる」ものは、学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」を選択する傾向があった。

田中ら⁵⁾は、学生が看護を志向した動機は、「テレビ番組・本・新聞記事」が最も多く、それ以外では「自分が受けた体験」を通してだった、と述べている。2期生は身近に医療者が「いる」ことが、この「自分が受けた体験」となって学科選択に影響したのではないかと考える。

VI. 結論

今回の調査により、本学看護学科2期生の入学動機に関しては、以下のことが明らかになった。

- 1) 本学選択の理由は「看護婦（士）になりたかった」こと、「日本赤十字」であること、秋田「県内」の学校であることの順に多かった。
- 2) 看護学科の選択理由は「看護婦（士）になりたかった」が多かった。
- 3) 本学選択理由別にみた看護学科選択理由は、本学選択理由「看護婦（士）になりたかった」と看護学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」、本学選択理由「日本赤十字だから」と看護学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」、本学選択理由「県内だから」と看護学科選択理由「看護婦（士）になりたかった」の組み合わせが多かった。
- 4) 出身地と本学選択理由「日本赤十字」だからとの間には、「秋田県外」出身者が「日本赤十字」だからを選ぶ割合が、有意に高かった。

pp225-228, 1989

4. 総務庁青少年対策本部：青少年白書（平成8年度版），pp77-306，大蔵省印刷局，1997

Ⅶ. おわりに

最後にこの研究にご協力くださった看護学科2期生の皆様に心よりお礼申し上げます。

引用文献

- 1) 酒井志保、滝内隆子、佐々木真紀子、大島弓子：看護学生の受験理由と看護学科選択理由に関する実態－本学看護学科1期生の入学時調査から－，日本赤十字秋田短期大学紀要，No.1，pp83-90，1996
- 2) 1) に同じ，pp84－85
- 3) 1) に同じ，pp84－85
- 4) 1) に同じ，pp86－87
- 5) 田中結華、久米弥寿子、辻聡子：本学看護学生の日常生活の実態調査－看護教育の視点からの分析－，大阪大学看護学雑誌，Vol.3，No.1，p48

参考文献

1. 波多野梗子：看護教育論，pp3-25，医学書院，1992
2. 永田忠夫：看護婦という職業を選択した要因について，愛知県立看護短期大学誌，13号，pp65-75，1981
3. 西郷淳子、岩井郁子、太田喜久子、操華子：本学新入生の看護選択の動機と大学教育選択の理由に関する実態調査，第20回看護学会集録（看護教育），